

製品名: GDI-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11390**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	GDI1
別名	GDI1; GDIL; OPHN2; RABGDIA; XAP4; Rab GDP dissociation inhibitor alpha; Rab GDI alpha; Guanosine diphosphate dissociation inhibitor 1; GDI-1; Oligophrenin-2; Protein XAP-4
遺伝子 ID	2664.0
SwissProt ID	P31150
免疫原	抗血清はヒト GDI-1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 394-443

背景

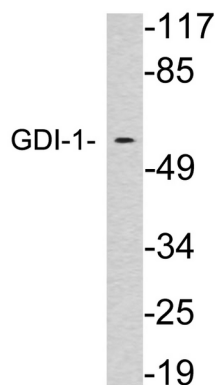
GDP 解離阻害因子は、ras スーパーファミリーに属する小さな GTP 結合タンパク質である rab ファミリーのメンバーの GDP-GTP 交

換反応を制御するタンパク質であり、細胞小器官間の分子の小胞輸送に関与しています。GDIは、rabタンパク質からのGDPの解離速度を遅くし、膜結合rabからGDPを放出します。GDI1は主に神経組織と感覚組織で発現しています。GDI1の変異は、X連鎖非特異的精神遅滞に関連しています。[RefSeq提供、2008年7月]、疾患：GDI1の欠陥は、精神遅滞X連鎖型41(MRX41)[MIM:300104]の原因です。精神遅滞は、適応行動の障害を伴う、発達期に発現する、平均を著しく下回る一般的な知的機能が特徴です。非症候性精神遅滞患者には、他の臨床徴候は現れません。、疾患：GDI1の欠陥が精神遅滞の原因です。X連鎖型48(MRX48)[MIM:300104]。MRX3としても知られています。、機能：ほとんどのRabタンパク質のGDP/GTP交換反応を、GDPの解離とそれに続くGTPの結合を阻害することによって制御します。、類似性：Rab GDIファミリーに属します。、組織特異性：脳。主に神経組織と感覚組織に見られます。、

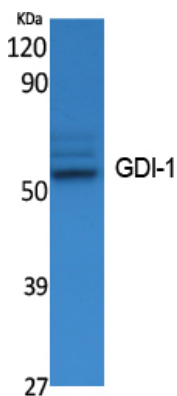
研究分野

-

画像データ



GDI-1抗体を使用した脳組織溶解物のウェスタンブロット分析。



GDI-1ポリクローナル抗体を用いたK562細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。